

## 平成 31 年度(2019)アサンプション国際小学校 学校評価報告書

### 1. めざす学校像

教育目標:「心身ともに、すこやかで愛に生きる子

～進んで学ぶ子、強く生きる子、神と人を愛する子～

#### 1. 進んで学ぶ子

- (1) 基礎的基本的学力を身につける
- (2) 自分で考え判断する
- (3) 自分の考えを表現し、分かち合う

#### 2. 強く生きる子

- (1) 基本的生活習慣を身につける
- (2) 強い心と体をつくる
- (3) 責任を持ち、自主的に行動する

#### 3. 神と人を愛する子

- (1) 自分の良さや人の良さを認める
- (2) 思いやりを持ち、友だちを大切にする
- (3) 感謝の気持ちをもって喜んで働く
- (4) 自然を大切にする

### 2. 2019事業計画

#### 【理 念】

学院のモットー「誠実 隣人愛 喜び」に基づき、『世界の平和に貢献する人の育成』を目指す  
～全学年が新体制になるため、「アサンプション 21 世紀型教育」の充実と定着

#### 1. 重点課題

- (1) 授業力向上…教職員の意識改革、組織力強化と授業力の向上の育成
- (2) 英語力強化…イマージョン教育の定着と組織化
- (3) 学院的課題…募集60名を目標とした広報戦略の強化
- (4) 幼・中高教職員間…内部進学制度の充実と教員の相互補完
- (5) 宗教教育再生・強化…カトリック校に相応しい全校的体制刷新

#### 2. 具体的な取り組み

- (1) 授業力の向上
  - ① 研究研修体制…新任教員研修・研究授業強化
  - ② 分掌連絡会の活性化(組織力)…組織で動く教務体制作り
  - ③ メンバー大幅入れ替え…教員の一致団結と協力関係強化・若手教員の育成
- (2) 英語力(イマージョン)強化
  - ① 小学校にイマージョンコーディネーターの配置
  - ② イマージョン授業レベルアップと全学年への拡大。
  - ③ 低学年イマージョン手法の確立…小学校内のコース変更ルール確定
  - ④ 中高のイマージョン部と連携して、12 年一貫体制展望を確立
- (3) 学院的課題＝募集大増強(60 名必達)
  - ① 説明会手法の見直し強化…授業紹介と成果物紹介の DVD の作成・活用
  - ② 親密学習塾、親密英語幼稚園等との連携強化…受験生の増強促進連携
  - ③ 入学試験の抜本的見直し…カトリック校らしい「多様性」重視の入試へ
- (4) 幼・中高教職員との連携強化
  - ① 幼稚園⇒園長推薦制のさらなる確立と説明会実施
  - ② 小学校⇒校長推薦制度改革と中学授業への体験の実施
  - ③ 教員交流促進…イマージョン、ネイティブ教員交流・月 1 回の会議の充実

(5) 宗教教育再生・強化

- ①学院全体の宗教委員会の立ち上げ…園校別の課題集約からスタート
- ②「宗教の時間」への教員の参画機会増強…手法・メンバー検討
- ③教員に対する宗教教育実施

【自己評価アンケートの結果と分析】(2020年1月実施)

保護者アンケート

<集計結果>

- ・「建学の精神を伝える努力」は肯定 91%、否定 7%、無回答 2%。
  - ・「カトリック精神の浸透」は肯定 89%、否定 9%、無回答 2%
  - ・「楽しく登校」は肯定 91%、否定 6%、無回答 3%。
  - ・「こどもの成長」は肯定 80%、否定 15%、無回答 5%
  - ・「子供たちの声に耳を？」は肯定 75%、否定 21%、無回答 4%。
  - ・「健康管理、安全管理」は肯定 86%、否定 10%、無回答 4%。
  - ・「授業の雰囲気」は肯定 73%、否定 22%、無回答 5%。
  - ・「学力向上への教科指導」は肯定 72%、否定 23%、無回答 5%。
  - ・「新しい教育への努力」は肯定 75%、否定 18%、無回答 7%。
  - ・(E コースのみ)「イメージ教育による算数の学力向上」は肯定 25%、否定 9%、無回答 66%。
  - ・(E コースのみ)「イメージ教育による理科の学力向上」は肯定 7%、否定 6%、無回答 87%。
  - ・(E コースのみ)「イメージ教育による日本人教員による指導の必要性」は肯定 16%、否定 18%、無回答 66%。
- (※全家庭に同一のアンケート用紙を配布したため、A コースや該当しない学年の保護者は無回答になっている。)
- ・「学院併設校との連携」は肯定 48%、否定 48%、無回答 4%。
  - ・「HP・ブログによる学校の情報発信」は肯定 86%、否定 10%、無回答 4%。
  - ・「小学校だよりによる学校の情報発信」は肯定 86%、否定 8%、無回答 6%。
  - ・「学年通信・学級通信による学年・学級の情報発信」は肯定 87%、否定 9%、無回答 4%。
  - ・「アフター・メアリーズへの満足度」は肯定 73%、否定 21%、無回答 6%。
  - ・「英語教育を中心とした国際教育」は肯定 67%、否定 27%、無回答 6%。
  - ・「国際バカロレアへの興味」は肯定 49%、否定 11%、わからない 38%、無回答 2%。
  - ・「姉妹校への国際バカロレアの資格取得のための留学」は肯定 49%、否定 46%、無回答 5%。

<個別の意見>

- ・低学年の保護者からは、英語に対する要望が強い。
- ・学校生活や言葉遣い、躰についての意見が多い。
- ・英語教育について、賛否とも意見が多い。
- ・教員の入れ替わりへの心配やそれに伴う学校全体を危惧する意見がある。
- ・幼稚園や中高との交流や連携を望む意見がある。
- ・北門警備に対する不安の意見が複数ある。

教員アンケート

<集計結果>

- ・「建学の精神の教員・児童への浸透度」は肯定 68%、否定 5%、どちらともいえない 27%、無回答 0%。
- ・「カトリックの精神の教員・児童への浸透度」は肯定 68%、否定 5%、どちらともいえない 27%、無回答 0%。
- ・「公平な指導、人権尊重」は肯定 74%、否定 0%、どちらともいえない 16%、無回答 10%。
- ・「児童の生活環境把握」は肯定 84%、否定 0%、どちらともいえない 11%、無回答 5%。
- ・「健康安全配慮」は肯定 90%、否定 0%、どちらともいえない 5%、無回答 5%。
- ・「基礎学力定着努力」は肯定 74%、否定 0%、どちらともいえない 21%、無回答 5%。
- ・「ICT 教育」は肯定 58%、否定 0%、どちらともいえない 37%、無回答 5%。
- ・「総合的な学習、特色ある教育活動」は肯定 68%、否定 10%、どちらともいえない 22%、無回答 0%。

- ・「SDGsを意識した教育活動」は肯定48%、否定15%、どちらともいえない32%、無回答5%。
- ・「英語教育、国際教育」は肯定74%、否定0%、どちらともいえない21%、無回答5%。
- ・「イメージ教育による学力の定着」は肯定16%、否定5%、どちらともいえない58%、無回答21%。
- ・「中高との連携」は肯定0%、否定37%、どちらともいえない58%、無回答5%。
- ・「幼稚園との連携」は肯定11%、否定41%、どちらともいえない43%、無回答5%。
- ・「保護者との連携」は肯定74%、否定5%、どちらともいえない16%、無回答5%。
- ・「効果的な研究研修体制」が肯定32%、否定26%、どちらともいえない32%、無回答10%。

<個別の意見>

- ・教科研究や検討会、ICT研修の頻度を増やし、授業をより良くしたい。
- ・幼、小、中、高の連携が後退している。管理職レベルでの実務的な集まりを定期的に持った方がいいのではないかな。

#### 分析

保護者アンケートの結果から、低学年を中心に、学校改革後に始めているイングリッシュコースの取り組みに関して強い要望があることが分かった。一方で、言葉遣いや躰の面などについても、被昇天時代からの良い伝統を引き継いで取り組んでいくことの必要性を再認識した。

教員アンケートの結果からは、多忙な日常ではあるが、定期的な研修の機会の要望がある。新学習指導要領に対し全教員が、共通理解を持った上で日々の教育活動ができるよう、対策が必要である。

また、保護者・教員共に、幼・小・中・高の連携がより一層強くなることを望まれている。行事等、目に見える形で早急に取り組んでいく必要がある。

### 3. 本年度の取組内容及び自己評価

今年度の重点目標 (Plan)	具体的な取組計画・内容 (Do)	評価指標 (Check)	自己評価 (Action)
(1) 授業力の向上	① 研究研修体制…新任教員研修・研究授業強化 ② 分掌連絡会の活性化(組織力)…組織で動く教務体制作り ③ メンバー大幅入れ替え…教員の一致団結と協力関係強化・若手教員の育成	① 教科別、新任、ICT、人権、宗教等の研究研修を実施する。学年主任を中心に、学年内で連携を図り、公開企画を行う。(判定:○、△、×) ② 分掌連絡会を定期的に開催し、情報の共有と組織力の強化を図る。(判定:○、△、×) ③ クラス担任とネイティブ教員、専科教員と連携し、学年単位や学校全体での情報の共有と協力体制の強化を図る。(判定:○、△、×)	① 結果 △ 研究授業は、一部の教員で実施し意見交換などができた。外部講師招聘により授業研修を行った。 ② 結果 ○ 2020年度に向けカリキュラムマネジメントを作成した。 ③ 結果 △ 学級経営について、指導においての共通認識が徹底できなかった。児童支援・管理職が学級経営・教科指導のサポートを行った。

<p>(2) 英語力(イマージョン)強化</p>	<p>①小学校にイマージョンコーディネーターの配置</p> <p>②イマージョン授業レベルアップと全学年への拡大。</p> <p>③低学年イマージョン手法の確立</p> <p>④中高のイマージョン部と連携して、12年一貫体制展望を確立</p>	<p>①イマージョン担当者間の連携を図り、授業研究を実施し協力体制を強化する。(判定:○、△、×)</p> <p>②部会を中心に連携を図り、公開企画を行う。(判定:○、△、×)</p> <p>③低学年のイマージョン授業の研究と進捗チェックを行い、コース変更のルールを定める。(判定:○、△、×)</p> <p>④小中高12年間のイマージョン授業のカリキュラムを作成し、学年ごとに進捗チェックを行う。(判定:○、△、×)</p>	<p>①結果 ○ 小学校内でイマージョン担当者会議を定期的に行い、指導内容・評価の統一を行った。</p> <p>②結果 △ 在籍児童の状況により、学年・クラスにより指導が異なる面があった。研究授業の実施は1年生1回に留まった。</p> <p>③結果 △ 小学校内のコース変更ルール確定し、保護者へ周知をした。低学年～高学年へのカリキュラム作成は今後の課題となる。</p> <p>④結果 △ 一期生進学に向けての課題について、小中高で確認をした。具体的な指導・カリキュラムについては今後の課題となる。</p>
<p>(3) 学院的課題＝募集大増強(60名必達)</p>	<p>①説明会手法の見直し強化…授業紹介と成果物紹介のDVDの作成・活用</p> <p>②親密学習塾、親密英語幼稚園等との連携強化…受験生の増強促進連携</p> <p>③入学試験の抜本的見直し…カトリック校らしい「多様性」重視の入試へ</p>	<p>①説明会における訴求方法と効果の検証を行い、DVDを作成し活用する。(判定:○、△、×)</p> <p>②連携の強化する。(判定:○、△、×)</p> <p>③カトリック校における「多様性」重視の入学試験の検証する。(判定:○、△、×)</p>	<p>①結果 ○ 授業紹介と成果物紹介のDVDの作成・活用 説明会参加者数が増。アンケートによる満足度は、9割が高く評価している。PBL・英語学習、特色教育(礼拝)の動画を作成し説明会で使用した。</p> <p>②結果 ○ 年間を通じて、説明会・入試前後に訪問活動を行った。 外部幼児用室での説明会回数は増。</p> <p>③結果 ○ 入試については、特に変更を行わなかった。</p>

<p>(4) 幼・中高教職員との連携強化</p>	<p>①幼稚園⇒園長推薦制のさらなる確立と説明会実施</p> <p>②小学校⇒校長推薦制度改革と中学授業への体験の実施</p> <p>③教員交流促進…イマージョン、ネイティブ教員交流・月1回の会議の充実</p>	<p>①園長推薦制度の策定し実施する。(判定:○、△、×)</p> <p>②校長推薦制度の策定、及び、中学校への体験授業を実施する。(判定:○、△、×)</p> <p>③小中高イマージョン、ネイティブ教員の相互授業交流の実施する。(判定:○、△、×)</p>	<p>①結果 ○ 5月に年長、2月に年中・年少への説明会を行った。 推薦制度とコース決定方法を周知し、混乱なく実施できた。</p> <p>②結果 △ 5・6年生に対して、イマージョン授業見学を行った。 一般向け説明会の案内を行ったが、各回参加者は伸びなかった。</p> <p>③結果 ○ イマージョン、ネイティブ教員交流は、適宜行った。 生活指導、人権の会議を担当者が合同で実施し、情報交換を行った。 中高生徒会と小 A.S.A.が合同企画行事を行った。</p>
<p>(5) 宗教教育再生・強化</p>	<p>①学院全体の宗教委員会の立ち上げ…園校別の課題集約からスタート</p> <p>②「宗教の時間」への教員の参画機会増強…手法・メンバー検討</p> <p>③教員に対する宗教教育実施</p>	<p>①学院全体の宗教委員会の立ち上げる。(判定:○、△、×)</p> <p>②「宗教の時間」への教員の参画機会の増加する。(判定:○、△、×)</p> <p>③教員への宗教教育研修の実施(判定:○、△、×)</p>	<p>①結果 × 園校別の課題はあると思われるが、委員会立ち上げには至っていない。</p> <p>②結果 ○ 礼拝担当を通じて、Sr.の助言のもと、聖書や創立者の言葉について考える機会があった。 学級担任は、週1時間の「宗教」授業に参加した。</p> <p>③結果 △ 研修としては行っていないが、朝礼での朗読や日々の教育活動の中で、祈る機会が設定されている。</p>